

上京中学校 3年 道徳だより 6月発行

もっとすてきな自分に出会うために ——道徳で、心をアップデートしていこう

「道徳の時間」が「特別の教科 道徳」として位置づけられるようになり、3年目になります。上京中学校では、学級担任が行う担任道徳と、学年の教員が各クラスを順に回って行う持ち回り道徳を組み合わせ、下記の22の内容項目について、**自分ならどうするのかを問い、自分自身のこととして考え、議論していく道徳**を目指して取り組んでいます。

「1年間で学ぶこと（22の内容項目）」

Aの視点…自分自身に関すること

（自主,自立,自由と責任／節度,節制／向上心,個性の伸長
／希望と勇気,克己と強い意志／真理の探究,創造）

Bの視点…他の人との関わり

（思いやり,感謝／礼儀／友情,信頼／相互理解,寛容）

Cの視点…集団や社会との関わり

（遵法精神,公德心／公正,公平,社会正義／社会参加,公共の精神／勤労
／家族愛,家庭生活の充実／よりよい学校生活,集団生活の充実
／郷土の伝統と文化の尊重,郷土を愛する態度
／わが国の伝統と文化の尊重,国を愛する態度／国際理解,国際貢献）

Dの視点…生命や自然、崇高なものとの関わり

（生命の尊さ／自然愛護／感動,畏敬の念／よりよく生きる喜び）

テストの解答は『正解』と『不正解』に分かれます。道徳にも『正解』はありますが、道徳の正解は1つではありません。人の数だけの正解があり、人の数だけの生き方があります。子どもたちが本音で語り合い、心を使って一生懸命考えた足跡をワークシートに残しながら、「今よりもっとすてきな自分に出会うために」を目標に授業を進めています。

この道徳通信では、道徳の授業で子どもたちがどんなことに気づき、考えたのか、子ども達の言葉を定期的に紹介していきます。道徳だよりを通じてご家庭でも意見交換していただき、子どもたちの学びがさらに深まる機会になればと思います。

学校、家庭、地域…子ども達を囲む周りの大人たちが手を取りあい、子どもたちの豊かな心を一緒に育てていきたいです。



22の内容項目のうち、現在持ち回り道徳で扱っている教材をご紹介します。

A	自主, 自律, 自由と責任	『ある日の午後から』
	向上心, 個性の伸長	『ぼくにもこんな「よいところ」がある』
B	礼儀	『言葉おしめ』
	思いやり, 感謝	『埴生の宿』
C	勤労	『たんぼぼ作業所』
	家族愛, 家庭生活の充実	『背筋をのばして』
	郷土の伝統と文化の尊重, 郷土愛	『島唄の心を伝えたい』
D	よりよく生きる喜び	『背番号 15 が歩んだ道—黒田博樹』

「背筋をのばして」

＜教材について＞

クリーニング店を営む両親の愛情や仕事に対する姿勢を尊敬しながらも、主人公は家業を継がずに、デザイナーになるために専門学校に進学する夢を持っている。しかし、父母の期待を知りつつ、自分の夢を相談できずに高校3年生を迎えた主人公は、彼女の希望を知って落胆する父に対して冷たい言葉を浴びせてしまう。母から進路希望用紙への保護者印をもらうが、やり場のない思いがふくらむ。旅立ちの前夜、父は娘の手作りのジャケットにアイロンをかける。「背筋をのばしていきなさい。」の言葉とともに手渡されたジャケットは温かかった。

授業の中で、家を出た主人公の気持ちになって父親に手紙をかきました。自分自身の夢のことや父親の思いに答えられないもどかしさ、受け継いだ思い…さまざまなことを考え、言葉にすることを通して、「家族愛ってなんだろう…？」ということについて考えました。

＜子どもたちの「こころのあゆみ」より＞

自分が感じていること以外にも、愛されていることはたくさんあると思うので、そういうこと1つ1つに感謝できるような人になりたいと思いました。

自分と違う意見を言われたらイライラしてしまうことがあるけれど、たまには、お母さんの言うことも素直に受け止めたいと思った。

してもらっている事を当たり前だと思わず、感謝する！
してもらった事を、自分も人にできるようになる！

今、反抗期かもしれないけど、少しは、気持ち（ごめんねとか）をしっかり伝えていけたらいいです。

受験ももうすぐあるので、家族にきつくあたってしまうことがあるけど、それでも応援してくれていることを日頃から感謝するべきだなと思った。

しかられたりすることとても多いけど、そこに愛を感じて、しっかりと受け止めていきたいと思った。家族だけでなく、先生など、色々な関わってくれる人に感謝の気持ちを大切にもっておきたいです。

自分の思いは、心に秘めるのではなく伝え合ってぶつかり合って、初めて家族になれるのかなと思った。



